

個人株主の皆さまにお届けする情報誌

NYK

plus

NYK プラス
2020 Spring

Vol.
27

[特集] 「有人自律運航船」への取り組み
世界初、外航船で自動操船の実船試験



社会貢献しながら健康増進 「チャリティRUN+WALK」

当社はランニングやウォーキングを通して社員
の健康増進とチャリティ文化の浸透を図る「チャリティ
RUN+WALK」を2017年から行っています。

「自分たちの健康につながる運動と結びつけられ
もっと多くの社員が気軽に社会貢献に参加できるか
も」。この活動は、社員有志による「NYKボラ
ンティアサポーターズ」の提案から始まりまし
た。

参加者が寄付金となる参加費(500円)を支払い、
初年度は皇居外周を1周(約5キロ)走ることに会社
が寄付金に100円を上乗せする形式でした。翌年
度は、国内の支店・グループ会社にも範囲を拡大し、
場所を問わず5キロ走れば皇居1周とカウントしま
した。第3回の今回は2019年9月～11月に海外
のグループ会社にも声をかけて実施。欧州ではラン
ニングやウォーキングに加えて自転車や水泳、スカッ
シユなども対象にして、より多くの参加者を募りま
した。結果、国内外あわせて総勢220名が参加し、

寄付金を国際NGO「国境なき医師団」に寄付するこ
とができました。

国内では本イベントを盛り上げるために、プロト
レーナーを招いて走り方や歩き方のレッスンを開催
したり、社内に掲示した船舶図面に参加者が走行距
離に応じたシールを貼ることで「満船」を目指したり
と、さまざまな企画を実施しました。当社は、この取
り組みによって東京都の「東京都スポーツ推進企業」
とスポーツ庁の「スポーツエールカンパニー」に3年
連続で認定されています。

広報グループ石井真理子社会貢献チーム員に今後
の展開を聞くと、「次回は社会貢献とともに健康面での
効果をもっと前面に出したいと考えています。例
えば、イベント前後で参加者の健康数値を測定した
り、期間中に社員食堂と連携して特別メニューを出
すといったアイデアをNYKボランティアサポー
ターズと検討しています」と話しました。



プロのトレーナーによるレッスン



皇居外周をみんなで走るグループラン



シールで「満船」となった船舶の図面



「有人自律運航船」への取り組み 世界初、外航船で自動操船の実船試験

近年、陸上でも自動運転車の開発が進められていますが、海上にお化しています。「有人自律運航船」とは高度な先進技術、および陸上の乗組員の業務をサポートし、より安全でより効率のよい運航を可
 プは安全運航の向上および船員の労働負荷低減のため、先進技術を
 発や実証事業に取り組んでいます。

いても自動操船に向けた開発が本格
 オフィスからの遠隔支援を通じて船上
 能とする船舶のことで。当社グルー
 利用した「有人自律運航船」の研究開

自動車船で自動操船の 実証実験

「有人自律運航船」の実現には、
 ① 操船支援技術の高度化（状況
 認識・分析・判断・操作）② 機
 関室の高度化（事故予兆・機器
 の状態診断・最適メンテナンス）

③ 通信・サイバーセキュリティー
 ーなど、技術的要素の高度化を
 図る必要があります。

今回、当社は ① 操船支援技術
 の高度化への取り組みとして、
 外航船で世界初となる自動操船
 の実証実験を、船用機器メーカ
 ーの古野電気(株)と横河電子機器
 (株)、当社のグループ会社で海事
 コンサルタントの(株)日本海洋科
 学と共にを行いました。

2019年9月14日から20日
 にかけて大型自動車専用船「*His
 Leader*」が行われた今回の実験
 は、中国の新沙から名古屋港、



自動車専用船「Iris Leader」

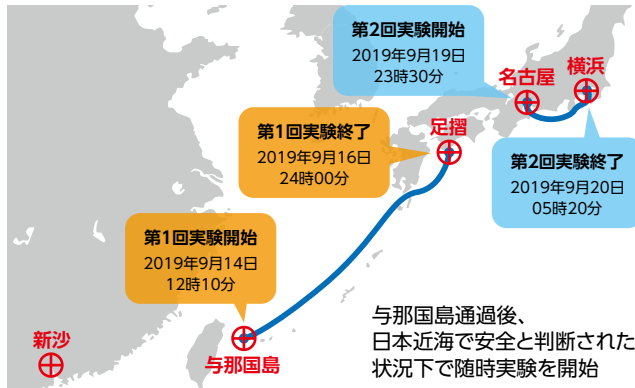
「最適航行プログラム」を開発

今回の実験では「最適航行プログラム」を使用しました。「最適航行プログラム」は、(株)日本海洋科学

の分野はこれまでは北欧勢が先行していましたが、どちらかというアイデア先行型の発信が多かった。今回は実際に船を走らせながら自動運航の実証実験を行ったという意味で非常にエキサイティングな取り組みです」とその意義を語りました。

当社グループの自律運航船に関するプロジェクトマネージャーを務める(株)日本海洋科学の桑原悟運航技術グループ長(船長)は「今回

が30年以上前に開発した「海上交通流シミュレーションプログラム」を基にベテラン船長の経験に基づく判断基準を盛り込んで、衝突を回避します。船舶では他船の接近や障害物によって衝突の可能性が生じた場合、航海士がそれを避けるための避航針路を立案し、手動で回避操作をとります。一連の動作をすべて自動で行い危険を回避するのが「最適航行プログラム」です。



実証実験の概要

および名古屋港から横浜港の航路上で2回実施されました。

1回目の実験は、「Iris Leader」が中国の新沙を出港後、与那国島を通過し日本領海に入った9月14日12時10分から開始し、足摺岬に到達した16日24時に終了。この間、自動操船による避航は16回実施。2回目の実験は、名古屋/横浜間で19日23時30分から20日5時20分にかけて実施し、この間の自動操船による避航は3回ありました。合わせる、自動操船時間が計16時間11分、その距離257海里(約476km)、自動操船による避航回数は

計19回に上りました。

今回の試験は、船舶の安全・環境保護などに関する国際ルールを制定する国連機関のIMO(国際海事機関)が2019年6月に採択した自律運航船の実験に関するガイドラインに基づいて、ルールを順守しつつ航行安全に万全を期して行いました。

自律運航船の実証実験を終えて、当社の小山智之常務(当時)は「このような開発は機器メーカーが行うのが一般的で、海運会社が主体的に開発を進めるのは世界的にも非常に珍しいことです。自律運航

さまざまな手法で 郵船と海運の魅力を伝える



広報グループ 報道チーム

木幡 龍太さん



実験中の操舵室内

の実証実験で自律運航船の実用化に向けた課題を明確にすることができ、実用化の可能性を確認することができました」と総括。ただ、現在のプログラムは精微で無駄がない反面、周囲の船への配慮等がないため、相手船がこちらの針路を予想しやすいようにあえて大回りするなど、人間らしい優しさや良い意味での曖昧さを加えることなどを今後の課題として挙げました。

この「最適航行プログラム」は遠隔操船や無人運航の基礎となりうる技術として、社会的な課題解決への貢献も期待できると位置付けら

れます。

今回の実験は、陸上のシミュレーターでの実験だけでは得られないさまざまなデータを取得し、同プログラムが安全性・効率性の高い運航に寄与できること、また実用化の可能性を確認することができ、当社が目指す有人自律運航船の実現に向けた大きな一歩となりました。

導き出す針路と、人間が下す判断との差異を調整するなど、さらに高度な操船支援技術へと改良を重ね、より安全で、効率的な運航を可能にする「有人自律運航船」の実現を目指していきます。

昨年からは「プチブロック」を使って客船「飛鳥II」を組み立てるブロック教室を日本郵船歴史博物館で開催。「ブロック船」の設計も広報で行っています



大学院生時代に東京六大学野球の審判員を約9年務めた。「今の主なフィールドは家で家事と子供の相手ですが、時間ができたらまた審判をやりたいです」



こわた りょうた
木幡 龍太さん

2009年日本郵船入社。入社研修後、NYKロジスティクスジャパン(株)(2010年10月に郵船航空サービスと事業統合し郵船ロジスティクス(株)に)へ出向。2012年10月から製鉄原料グループに配属、大型ばら積み船の運航業務を担当の後、営業として国内荷主の船腹調達窓口を担当。2016年4月から広報グループ広報第一チームに配属、インタビュー時は報道チームに在籍。公式SNSの運営も務める。

「攻め」の広報戦略を立案・実行

■海運会社をもっと身近に

「海運は一般の方々にとって身近ではない産業。その理由は、船舶の大型化によって港湾が人々の生活エリアから離れてしまったことと、1985年のプラザ合意後に外航日本人船員が減少したため、船員が縁者や知り合いにいるという方が少なくなってしまったからです」と木幡さん。そのための難しさが海運会社の広報にはつきまといますが、「巨大な船や荷役風景、船員しか見ることができない景色などを、情報技術の発達により映像で発信できるようになったことは私たちにとって追い風です」

日本郵船に入社したきっかけは。

私の名前は坂本龍馬と武市半平太から一字ずつもらいました。龍馬の夢といわれる「世界の海援隊」が具現化されたのが三菱グループで、当社のごも子供の頃から知っていました。一生の仕事にするなら好きなもののために働きたいと思い入社しました。

いままで力を入れてきた仕事は何ですか。

郵船の取り組みや人の紹介を通して当社の姿を積極的にアピールする「攻め」の広報です。従来、ニュースを発表する際は事業部門が一から発表内容を作成し広報が確認するというプロセスでしたので、事業部門は発表準備の負担感があり、新しいニュースが入りづらい状況でした。そこで、発表内容の構想段階から広報がニュースを「プロデュース」する方法に変更しました。当初は擦り合わせがうまくいかないこともありましたが、今では広報と事業部門が協力して、事業部門が出したい「これぞ」というニュースを継続的に発信できるようになりました。

「攻め」の広報のための取り組みは他にもありますか。

最近では広報活動の舞台を、一般の方向けのツイッター、インスタグラムやYouTubeなどのSNSにも広げています。ホームページや記者会見では発信できない情報なども掲載し、より当社のことを知ってもらう取り組みを進めています。

今のお仕事の面白さは。

当社を多くの方々知っていただくことに真正面から挑戦し、それが記事や番組になって反響があった時にはやりがいを感じます。大切なのは、記事や番組を見てくださった読者や視聴者の方々に当社の姿を正しくお伝えできるかだと思います。また、SNSでは直接コメントをいただけることも多くありがたいです。最近では、ツイッターで行ったイラストコンテストに予想を超える数の応募をいただけました嬉しかったです。

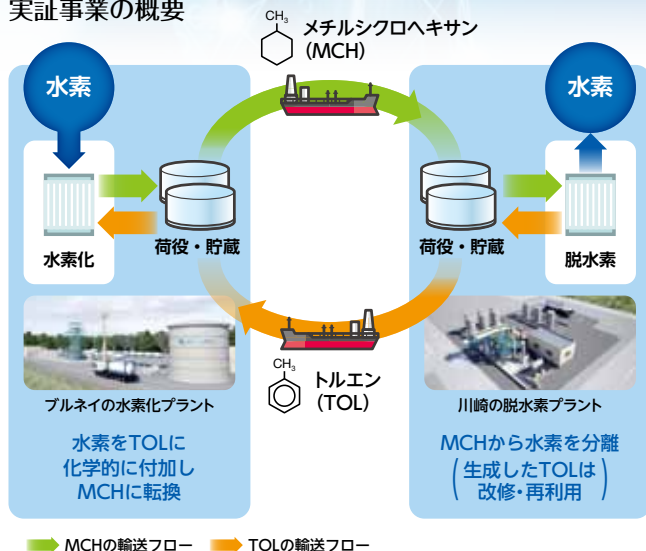
今後の目標は。

広報活動では、当社の取り組みによって将来がどう変わっていくのよう社会課題の解決につながるのをもっと見せていきたいです。また私の夢は、子供たちが船の絵を描いたら自然にファンネル(煙突)に郵船のシンボルの赤い二本線を入れてくれるようになることですね(笑)。

水素輸送実証事業へ参画

当社は2020年から1年間、脱炭素社会の実現に向けた水素輸送の実証事業に参画します。郵船ロジスティクス(株)、オーシャン・ネットワーク・エクスプレス(ONE)と連携し、ブルネイ/川崎間の水素輸送を手掛けます。

実証事業の概要



当社はこの事業を通じて得られる知見を活用し、脱炭素社会の実現に向けて水素を切り口とした事業開発を加速させていきたいと考えています。

せてMCH(メチルシクロロヘキサン)に変換します。このMCHは常温・常圧の液体なのでタンクコンテナなどで海上輸送し、川崎に設置した脱水素プラントで水素とトルエンに分離します。再び気体となった水素を川崎臨海部で発電燃料として利用します。川崎でMCHから水素を分離して残ったトルエンは再びブルネイに回送し、水素輸送の受け皿として再利用します。このオペレーションを1年間繰り返して、安定的に水素を輸送できることを実証します。

水素は使用してもCO₂(二酸化炭素)が全く発生せず、脱炭素社会を実現する次世代のクリーンエネルギーとして注目されています。ただ、水素をさまざまな分野で利用するには、安定的かつできるだけ安価な生産・輸送・供給体制を確立する必要があります。当社は水素の大量輸送方法を確立するため、今回の実証事業へ参画しました。

水素を大量輸送するためには、①マイナス253度まで冷却して液化する②アンモニアとして水素を貯蔵する③水素を他の化学物質に転換する——などの方法があります。その中で、当社が参画する次

世代水素エネルギーチェーン技術研究組合(AHEAD)が取り組むのが③他の化学物質に転換する方法です。千代田化工建設(株)が開発した「有機ケミカルハイドライド法」による世界初の国際間の水素サプライチェーン実証を通じて、水素の大量輸送・供給技術の確立を目指しています。大量輸送が可能になり、エネルギーが豊富な国で生産される水素を活用することができれば、将来の水素価格の低減につながるかと期待されています。

実証事業では、ブルネイのLNGプラントで調達した水素を、同国に建設した水素化プラントでトルエンと化学反応さ

ブルネイから川崎へ海上コンテナ輸送

洋上風力発電設備設置・支援船事業で北欧企業と協業

当社は、オランダのVan Oord Offshore Wind BV社と洋上風力発電設備の設置作業に使用する自航式SEP船（自己昇降式作業台船）の共同保守・運航についての覚書を締結しました。また、スウェーデンのNorthern Offshore Group AB社と洋上風力発電向けの作業員輸送船（CTV）事業での協業を検討する覚書を締結しました。両社の技術と当社の日本での知見を生かし、日本の洋上風力発電普及への貢献と海外事業での協業も視野に協議を進めます。（2020年1月）

エジプト初の完成車専用ターミナルを建設

当社はBolloré Africa Logistics、豊田通商株と共に、エジプトの東ポートサイド港で完成車専用ターミナルの運営を行う委託契約をスエズ運河経済特区庁と締結しました。エジプトでは人口増加と経済発展に伴い、自動車市場の拡大が見込まれています。同国初の完成車の専用ターミナルを建設し、大型自動車専用船2隻が同時に着岸可能な岸壁と十分な車両収容スペースを確保することで、今後の需要増大に対応します。（2020年1月）

伊ENI社とLNG燃料シャトルタンカー2隻の長期契約締結

当社が50%出資するKnutzen NYK Offshore Tankers AS (KNOT) は、イタリアに本部を置く石油・ガスメジャーENI社の子会社ENI Trading & Shipping S.p.A社とLNGを燃料とするシャトルタンカー2隻の長期定期備船契約を締結しました。KNOT初となるLNG燃料シャトルタンカーは、韓国のDaewoo Shipbuilding & Marine Engineering Co., Ltd.で2022年に竣工後、北海、バレンツ海で産出される原油を陸上基地へ輸送します。（2020年2月）

MarCoPayサービス開始に向け、洋上で電子通貨が流通

当社とフィリピンのTransnational Diversified Group (TDG) が共同で運用する船員向け電子通貨プラットフォームMarCoPayを通じて、世界で初めて洋上で電子通貨が流通しました。航海中の不安定な通信環境下でしたが、船員はMarCoPayを利用してスムーズに日用品の購買を行いました。船員から家族への送金などのサービスを含む全面稼働に向けて引き続き準備を進め、決済・送金業務の効率化を通じて船上でのキャッシュレス化を目指します。

（2020年3月）



NYKニュース

機関プラント自律化へ、次世代の状態基準保全を検証

当社グループは船舶の機関の新たな整備・管理手法である次世代の状態基準保全（CBM）の確立に向けた共同研究契約を締結し、実船での検証を開始しました。現在、船舶の整備は主に一定時間ごとの保守管理が用いられていますが、センサーから得られた機関プラントのデータを船級協会や船用機関メーカーと共有しながら常時監視することで、より安全性が高く効率的な保守管理を可能にします。この技術は将来の有人自律運航船の実現に寄与します。（2019年11月）

日本初のCSR評価連動融資を締結

当社は(株)三菱UFJ銀行をアレンジャーとした「サステナビリティ・リンク・ローンによるシンジケート方式コミットメントライン」契約を締結しました。気候変動などの環境問題に取り組む国際非営利団体CDPによるCSRパフォーマンス評価と金利等の融資条件が連動した先進的な融資契約です。この契約は当社がCDPから高い評価を受けていることで契約することができました。当社は今後もこのような先進的な取り組みを通して、CSR活動に力を入れることを広くアピールしていきます。（2019年11月）

サイバーセキュリティマネージメントシステムの認証を取得

当社グループの船舶管理会社NYK LNGシップマネージメント株と当社が管理するLNG船「PACIFIC MIMOSA」が、一般財団法人日本海事協会からサイバーセキュリティマネージメントシステム（CSMS）の認証を取得しました。これは日本海事協会による初めてのCSMS認証事例です。当社は船舶のデジタル化推進に伴いサイバーセキュリティを喫緊の課題ととらえて全社的な対応をとっており、今回の認証取得もこの活動の一環で評価されたものです。（2019年12月）



九州電力向けに世界初のLNG燃料大型石炭専用船

当社、(株)商船三井、九州電力(株)の3社は、世界初のLNG燃料大型石炭専用船2隻の長期輸送契約に関する基本協定書を締結しました。当社と(株)商船三井が運航を行い、九州電力(株)の石炭火力発電所向けに海外から石炭を輸送します。LNG燃料は、九州電力(株)が主に火力発電向けに調達しているLNGを、九州電力(株)の75%出資子会社である北九州エル・エヌ・ジー(株)の陸上出荷設備を通じて、本船に供給します。（2019年12月）



イメージ:大島造船所

戦前戦後、 歌い継がれた初代社歌

日本郵船株式会社社歌
選並補与謝野寛

一 東に誰ぞとこしえ高く
海の覇者たる名誉を負うは
明治このかた御国の徳を
世界に顕わす日本郵船

二 二引の社旗の真紅の色は
愛と誠に勇める表徴
我等は竭す公益衆利
ますます高まれ地上の文化

三 ああ見よすべて我等も船も
かかる使命に生きつつ励む
如何なる世にも万里の浪を
笑いて乗り切る日本郵船

上記は当社の初代社歌です。初代社歌は、創業50周年の節目に制作されました。社員の詞を選考し補筆したのは、鉄幹の号で広く知られる詩人の与謝野寛です。1934年12月29日、大雪の日の商事納めで初披露された初代社歌は拍手喝采で迎えられたといえます。

その後、太平洋戦争で日本海運は壊滅状態となりますが、戦後復興に当社も立ち上がります。初代社歌はその歌詞のとおりに、さまざまな難局を幾度も乗り越えながら戦中・戦後も歌い継がれ、その精神は創業100周年を記念して制作された現在の社歌『永遠に路あり』に引き継がれています。

現在の社歌は昨年、NIKKEI 全国社歌コンテストで「社歌に名言賞」を受賞しました。社歌を、長澤社長をはじめとする役員、社員が歌いつないだ動画はYouTube「日本郵船 広報グループ_NYK Official」チャンネルからご覧いただけます。



海事用語 AtoZ

本誌の中でご紹介した記事の中から、わかりにくい専門用語を解説します。

【ファンネル】〈ふあんねる〉

10ページ

船舶の煙突のことで、大型船になると1本で家屋ほどの大きさになります。通常、外から見えるのは化粧煙突（ダミーの煙突）で、この中にエンジンや発電機などで発生した排気ガスを放出する排気管が通っています。表面は「ファンネルマーク」と呼ばれるそれぞれの海運会社固有のデザインで塗られており、当社のファンネルは白地に赤い横線が二本の通称「二引（にびき）」のデザインとなっています。

【船級協会】〈せんきゅうきょうかい〉

13ページ

船舶が安全に航行できる状態にあるかを検査して認証を与える独立機関。船舶に保険を掛けるために公正な船舶検査機関が必要になったことから18世紀後半に英国で発足しました。船級協会独自の基準で検査を行うほか、船籍国の政府から法定検査を代行します。日本、英国、ノルウェー、ドイツ、米国など主要海運国で設立されましたが、それぞれがグローバルに船級登録業務を行っています。安全検査だけでなく、その技術的な知見で自律運航船やクリーン燃料などの新たな船舶技術の開発にも貢献しています。

【SEP船】〈せつぷせん〉

14ページ

Self-Elevated Platform 船の略で、自己昇降式作業台船のこと。風車建設に必要な機器や部品を港から建設地まで輸送するほか、洋上で風力発電装置の設置作業にも使用されます。昇降式の脚（レグ）を海底に固定し、台座部分を海上に上昇させることで、気象・海象条件にかかわらず洋上でも安定した環境を作り出し、本船に搭載した大型クレーンによって風車据付作業を可能にします。

【作業員輸送船】〈さぎょういんゆうそうせん〉

14ページ

洋上風力発電設備の建設と発電開始後のメンテナンスの作業員や部品の輸送に用いる船舶。Crew Transfer Vessel (CTV)。現在、ヨーロッパの洋上風力発電基地で多数運航されています。全長が30m程度のアルミ製が主流で、中には30ノット前後の高速のものもあります。船の上から洋上風力発電設備に作業員が安全に乗降するための特殊な設備を持っています。

【シャトルタンカー】〈しゃとるたんかー〉

14ページ

海底油田上にある石油や天然ガスを生産・貯蔵・積出する浮体式設備（FPSO）などと陸上の石油精製・貯蔵基地の間のピストン輸送に従事する特殊なタンカー。潮流のある洋上で荷役を行うための自動船位保持装置（DPS）を備えるのが最大の特徴です。その役割から「洋上のパイプライン」とも呼ばれています。

■ JAZZ ON ASUKA II with BLUE NOTE TOKYO

2020年10月24日(土) 横浜発～26日(日) 横浜着 旅行代金 118,000～601,000円

～飛鳥クルーズ就航30周年記念～

■ アニバーサリーオープニングクルーズ

2020年10月26日(日) 横浜発～31日(金) 横浜着 旅行代金 294,000～1,461,000円



■ 秋の休日 仙台・ひたちクルーズ

2020年10月31日(土) 横浜発～11月3日(火) 横浜着 旅行代金 168,000～819,000円

■ Xmas 横浜 週末ワナイトクルーズA

2020年12月5日(土) 横浜発～6日(日) 横浜着 旅行代金 62,000～287,000円

■ 横浜スペシャルクリスマス ON ASUKA II

2020年12月6日(日) 横浜発～8日(火) 横浜着 旅行代金 123,500～601,000円

■ Xmas ハーパーライト横浜・神戸クルーズ

2020年12月8日(日) 横浜発～10日(火) 神戸着 旅行代金 112,000～519,000円

■ 神戸スペシャルクリスマス ON ASUKA II

2020年12月10日(火) 神戸発～12日(木) 神戸着 旅行代金 123,500～601,000円

■ Xmas 神戸 週末ワナイトクルーズ

2020年12月12日(土) 神戸発～13日(日) 神戸着 旅行代金 62,000～287,000円

■ Xmas 神戸・名古屋ワナイトクルーズ ●

2020年12月13日(日) 神戸発～14日(月) 名古屋着 旅行代金 50,500～246,000円

■ Xmas 名古屋ワナイトクルーズ ●

2020年12月14日(月) 名古屋発～15日(火) 名古屋着 旅行代金 56,000～259,500円

■ Xmas 横浜ワナイトクルーズB

2020年12月23日(日) 横浜発～24日(月) 横浜着 旅行代金 56,000～259,500円

■ クリスマスイブ横浜ワナイトクルーズ

2020年12月24日(火) 横浜発～25日(水) 横浜着 旅行代金 56,000～259,500円

■ Xmas 横浜 週末ワナイトクルーズC

2020年12月25日(水) 横浜発～26日(木) 横浜着 旅行代金 62,000～287,000円

下記の各種キャンペーンや割引などが設定されています。

●=スイートトリプルキャンペーン

※ 記載の旅行代金は2名1室利用時のお一人様の代金です。

※ 株主優待割引は他の割引(ファミリー割引10%等)と重複してご利用いただくことはできません。ご了承ください。その他のコースなどの詳細は下記までお問い合わせください。

新型コロナウイルスの影響を受け、2020年8月中旬までに出発するクルーズは中止いたしました。最新のクルーズスケジュールは以下のお問い合わせ先よりご確認ください。飛鳥IIでは、今後も皆さまに安全で快適な船旅を提供するための対策に取り組んでまいります。

お問い合わせ



郵船クルーズ株式会社
https://www.asukacruise.co.jp



TEL 045-640-5301
FAX 045-640-5366
営業時間 / 10:00～17:00
土・日・祝を除く

アニバーサリーイヤーが 華々しく幕を開ける



長崎の女神大橋と飛鳥II (撮影:中村 庸夫)

初代「飛鳥」から始まった飛鳥クルーズは2020年、就航30周年を迎えます。それを記念し、「アニバーサリーオープニングクルーズ」が登場しました。向かうは「飛鳥II」が生まれた長崎、そして鹿児島。5泊のクルーズに、アニバーサリーイヤーを祝う数々のイベントがそろいました。

夜を彩るのは、この日のために用意された特別ディナー。日本を代表する料理人4人が乗船し腕をふるう、和仏伊中、折衷スペシャルディナーを2度ご堪能いただけます。歴代の総料理長が受け継いできた味が織りなすアニバーサリーディナーもお楽しみください。

そのほか、就航30周年を記念した飛鳥クルーズオリジナルグッズも登場いたします。どうぞご期待ください。

\ plus /

NYKとホップのはなし

ビールがますますおいしい季節がやってきますね。ビール独特の香りや苦みを生み出すのに欠かせないホップは、気候が冷涼なところで生産されます。日本でも東北地方などで一部栽培されていますが、多くはドイツやチェコなどで生産されたものを輸入しています。生産されたホップは、現地でペレット（乾燥した小さなかたまり）に加工された状態で日本に海上コンテナ輸送されます。当社の関連会社であるオーシャンネットワークエクスプレスも輸送を手掛けています。

出典：ビール酒造組合ウェブサイト「ビールの豆知識」



日本郵船